方城村

第七巻　第三號

発行所　方城村公民館図書館
編集発行人　荒木良和
印刷所　冷牟田印刷合資会社
八幡市折尾町国道筋

昭和二十九年度施政に就て

村長　松井肝太

昭和二十八年度は、未曽有の水害発生により、農業関係施設復旧に或は補助獲得に又、数次の県並びに中央関係の査定に多忙を極めましたが一方、幹線道路第二期工事施行或は、中学校施設充実又、消防ポンプ購入衛生方面では赤痢患者の続発等ありまして、昭和二十八年度予算は今回提出の追加予算で六、七一〇、六九一円となり、昭和二十七年度最終予算より一、三六一、〇五八円、二二%の増加でありますが、幸い議会各位の御協力により是等の事業も着々所期の目的を達し得ました事を厚く御礼申し上げます。

昭和二十九年度通常予算村会にあたりまして村長として施政の重点を述べたいと存じます。

御承知の通り、現下の社会情勢より国家に於ても一兆以内の緊縮予算がくまれ、国民に耐乏生活を要望しておりますが、本村も炭坑不況により、村税も相当額の減収が予想され早急には炭界好転も望み薄と思はれますので、現在の情況下に於ける税収面を熟考いたしまして、当初に於て、一年予算を編成いたしました次第であります。依て、本年度は将来の補正予算関係は止むを得ざる支出以外は極力抑制いたしたいと考えます。

大体昭和二十九年度に於ける税収は殆んど全額を見込みました。即ち村民税に於て、方城炭坑の法人税割は皆無と予想されますので個人一〇〇万円、特別徴収六〇〇万円、計七〇〇万円の見込みであります。固定資産税は大体二十八年度と変りなく一、一〇三万円、車税四〇八千円、電気ガス税八〇万円、鉱産税八五〇万円の見込でありますが、大体この程度は確保出来る見込みであります。

村税収合計一七、七二六、五一一円となります。只今国会で審議中の地方税法が改正され、法人税の一部村民税の二部が県民税となり、煙草消費税が新たに創設されますと、本村は大体差引十万円程度の増徴となります。

地方財政平衡交付金は昭和二十八年度に於て、普通平衡交付金二四八万円、特別平衡交付金二四〇万円、合計二八八万円の交付をうける事になりました。これは当初の昭和二十七年度二五八万円程度と予定いたしておりましたところ、相当額増額されまして非常に嬉んでおる次第であります。

本年度に於ては一応昨年当初通り一五〇万円見込みました。繰越金は大体二五〇万円位と予想いたしております。其の他国、県の補助金や雑収入は大体二十八年度と変りありません。

以上の財源からみまして昭和二十九年予算を編成いたしました。昭和二十九年度の重点事業は幹線道路第三期工事費一六〇万円、消防ポンプ購入費二四〇万円、伊方小学校第二教棟改築費一、二〇〇万円を計上いたしました。

幸い議会の協賛を得ますれば、是が事業実施に最善の努力を傾注したいと考えます。

伊方小学校改築費一、二〇〇万円の財源は七〇〇万円を村債、四二六万円を特別鉱害復旧補助金、七六万円を一般財源で実施いたしたいと考えています。

本村は従来村債の一銭もない事を誇りといたしていましたが、前述の財政状態でありますが、教育関係予算や一般事業の縮少は自治振興並びに産業発展上、村政の萎縮と考えまして極力さけました関係上、止むを得ない仕儀となりました。

土木関係では昨年発生の水害復旧工事の完成に重点を置きたいと思います。幸い本村は災害指定町村となり国庫補助も九割の高率補助を獲得いたしましたので補助金の早期交付と事業完成に努力いたしたいと考えます。

普通土木関係では本村は文化村として天下に宣伝されています事は非常に嬉はしいのでありますが、道路の悪い事が頭痛の種であります。何分岳崎起伏し且土質の関係上非常に悪い条件でありますが、本年は改良より路面の改善に万全を期したいと思います。是に関しましては土木委員の皆様とも相談いたしまして、相当額の道路費の追加も止むを得ぬものと考えます。

公民館事業、社会教育、産業経済等につきましては大体平年と変りなく実質本位といたしまして、当初計画予算にて極力万全を期したいと思います。

本村農林業の振興は村百年の大計上必須の事項でありますが、御承知の如く石炭資源には限りあるものでありますので、本年から広大な原野の緑化に重点を置きたいと考えています。是がためには県の造林補助事業による民有林の植林と県行造林の実施が最も得策でありますので、本年は特に県行造林促進の一助として八万六千円を計上いたしました。

其の他家畜導入や酪農等畜産関係にも極力重点を置きたいと考えます

国民健康保険事業は昨年給付を開始いたしましたが、お蔭様で非常に順調に発展しています。本年は一層村民の利便と要望にこたえまして診療所の病棟拡充をいたしたいと予算二三五万円を特別会計に計上いたしました。これがため一般会計より本年も一五〇万円の繰入れを見込みました。

以上大体私の施政を申しあげましたが、特に伊方校第二教棟の改築、幹線道路の完成、植林事業の奨励、国保病棟の新築等は最重点に最大の努力を傾注いたしたいと思います。

昭和二十九年度当初予算総額五四、一五一、三四六円を計上提出いたしましたが、宜敷く御審議下さいまして原案の通り御認定下さる事を切にお願いいたします。

尚提出議案についての詳細な説明並びに御質疑の点は助役或は係主任をして懇切に説明いたさせます。

村議会

三月十一日、村議会に提出された昭和二十九年度方城村歳入出当初予算(案)

歳入

一、村税(普通税)	二七、七二六、五一一円
二、地方財政平衡交付金	一、五〇〇、〇〇〇
三、公営企業及財産収入	四、五〇〇円
四、使用料手数料	一、九〇一、〇〇〇円
五、国庫支出金	一一、一六五、一四一円
六、県支出金	九三八、八四三円
七、寄附金	五七二、二五〇円
八、繰越金	一、〇〇〇、〇〇〇円
九、雑収入	三四三、一〇〇円
一〇、村債	七、〇〇〇、〇〇〇円
歳入合計	五四、一五一、三四六円

歳出

一、議会費	一、八八二、六六一円
二、役場費	八、九一八、一六六円
1職員費	七、五七九、四二〇円
2営繕費	五〇、〇〇〇円
3諸費	一、一九二、七四六円
4委員費	九六、〇〇〇円
三、警察消防費	二、二五五、四〇〇円
1消防費	一、九一七、六〇〇円
2警察費	二三七、八〇〇円
3諸費	一〇〇、〇〇〇円
四、土木費	一〇、五四五、二〇〇円
1道路橋梁費	二、五八五、〇〇〇円
2河川費	一〇〇、〇〇〇円
3農業土木費	五、〇二五、〇〇〇円
4特別鉱害復旧費	二、七〇九、二〇〇円
5諸費	二六、〇〇〇円
五、教育費	一九、四三三、九二一円
1教育委員会費	二八一、四〇〇円
2委員会事務局費	七二五、〇一五円
3伊方小学校費	一三、八五五、五〇〇円
4弁城小学校費	七五〇、三一九円
5方城中学校費	一、六六一、九〇〇円
6公民館費	一、三七四、六四七円
7図書館費	二二〇、〇〇〇円
8青年学級費	五五四、一四〇円
六、社会労働施設費	四、二三八、二一〇円
1生活保護費	一〇〇、〇〇〇円
2民生委員費	五六、九〇〇円
3児童福祉費	三、九九九、一四〇円
4社会福祉事業費	八二、一七〇円
七、保健衛生費	二、七六〇、七六六円
1健民費	一、五二二、二〇〇円
2伝染病予防費	一四七、五〇〇円

3鼠族昆虫駆除費　一八三、〇〇〇円
4伝染病院費　四七八、四〇〇円
5結核予防費　一三二、一六六円
6畜犬登録費　八、〇〇〇円
7予防接種費　一六九、五〇〇円
8火葬場費　一二二、〇〇〇円
八、産業経済費　一、六〇四、三三〇円
1農業委員会費　六二九、七六〇円
2農業会館費　四七三、〇七〇円
3農業費　五〇一、五〇〇円
九、地方振興費　一、一五五、二〇〇円
一〇、財産費　七〇三、〇〇〇円
1基本財産造成費　三、五〇〇円
2財産管理費　六九九、五〇〇円
一一、統計調査費　二〇、八〇〇円
1農業統計費　二、〇〇〇円
2商工統計費　一、八〇〇円
3人口調査費　九、二〇〇円
4教育統計費　一、三〇〇円
5諸費　六、五〇〇円
一二、選挙費　一三九、〇〇〇円
1選挙管理委員会費　九二、五〇〇円
2農業委員会選挙費　四六、五〇〇円
一三、公債費　六〇、〇〇〇円
一四、諸支出金　一四五、六九二円
一五、予備費　三〇〇、〇〇〇円
歳出合計　五四、一五一、三四六円

村議会の今昔

高津久雄

村議会の今昔と題したが、そう遠い昔の村議会を云うのでわない。昭和十年頃から昭和二十年頃のことだと思う。役場の或る一人が近頃の村会に於ける議論の旺なることや、議案審議の様子が仲々厳しく、当局者間に心配そうなヒソ〳〵話が時々行われるのを見て、今の執行部は正直過ぎてやり方が下手であるから、いらないことに骨を折ってその上幾日も会議がすまないのだ。昔の村会は特別の事のない限り大抵一日で終ったものだ。当局の議案説明が終って、そろ〳〵質問に入る頃ともなれば、賄下では早手廻しに宴会の準備が進められ、うまそうな料理の匂いをプン〳〵させたものだ。そうすると、議員諸公、心もウツロにもう大抵で切上げようと云う調子で、議事の進行も早く、諸事提案の通り別に今の様に六ケ敷しい議論もなく議決されたものだ。やり方が悪い議員には飲ませるに限ると云うのである。又そうした当時の事実を識者中に肯定する人も多い。なる程其の時代としては、当局も、議員も、それが最もよき村会運営の方法であり、又村民もそれを村会のあり方として、是認したかも知れぬ。そうして、他の方では、今も尚そうしたやり方で無難を誇る町村がないとも限らない、が、今日の方城村の場合、村議会対執行部の関係に於て、斯る手段方法に依って議員が、当局の意の侭に動くものであると考えるならば、それは村議会を余りにも無能視した言葉となろう。又村議会が意識の上に於いて御馳走手段に捉われて、議案の審議を怠ることがあったとすれば、それは、村民代表の職責を自ら冒涜するものであると難しなければならぬがそうした事は、過ぎた昔の事であって、今日の方城村議会に於いては、絶対に其の心配はないようだ。

今の村会に於いての議案審議の有様を見ると、初めに当局の提案に対する詳細なる説明が要求される。それに続いて鋭い質問が繰返される。当局の意 究を充分に糺したる後、議案は委員会附託となる、第一部、第二部及第三部の各委員会に於いて審議された案は、更に総会委員会の俎上に上される。此処で自由討議の形で議員相互間の忌憚なき意見の交換が行われる。斯くして議会としての修正意見又は賛成意見が纒められる。其の後に於いて、議決に移ると云う段取りで、村会も当局も全智、全力を挙げての審議である。昔の村会を知っている人々には、全く今昔の感ありと云う所であらう。村会のあり方として、斯くてこそ初めて村民の信頼に依る負託に応え得るものと考えたい。然し何事も時代だと之を軽く看過されることには賛成しがたい元来村議会が村民の代表者を以って構成され、村会に於いて、村民の総意としての意思決定機関であることに思いを致せば、当局から提出される諸案件が各議員の持つ全能力を傾注して審議されることが、当然のことでなくてはならぬ。それは昔も今も変ったことではない筈である。村会に於ける議論の旺なることは要するに議員素質の向上に伴う、村自治の発達を表現するものに外ならない。寧ろ歓迎すべき事であって絶対に回避すべき事ではないと思う。筆者は、現村会を紹介したい一念から、敢えて此の記事を書いた。只惜しむらくは、今も昔も、村民の村会傍聴者の少い一事である。

納税強調月間中間報告

去る三月一日より三月末日迄を村税完納強調月間として皆様に御協力願って居る次第でありますが、二月末日現在で昭和二十八年度固定資産税八二%、村民税七六%八であります。未納者は此の期間内に完納する様御努力願いま す。

期間内に税金を完納されますと、各納税組合の完納額の一割が奨励金として還付されますから、奨励金を獲得する様各未納者の方は既に税金を完納された組合員の方に御協力いたしましょう。

1栄える村に滞納なし
2税金を納めて築く明るい村
3納税を済ませてにっこり野良仕事

昭和二十九年三月二十日

村財務課

昭和28年度固定資産税及村民税納税成績一覧表
(29.3.20日現在)

部落名	固定資産税 歩合	固定資産税 未納人員	村民税 歩合	村民税 未納人員
長浦谷	83.1%	8人	96.5%	1人
広見六山	100	0	100	0
丸中原上	100	0	100	0
新門下	92.6	5	100	0
新門下	74.1	12	90.2	5
野添上	62	29	73.3	11
野添下	93	8	96.7	1
東古門	89.5	9	89.3	5
中古門	90.7	21	97	4
牟田々	81.8	25	77.7	9
平塚	78.7	24	64.2	19
前村丸	100	0	100	0
音先り	100	0	100	0
清通保	100	0	100	0
公園上	92.5	4	97.1	1
矢久下	89.5	4	91.3	4
後谷通	86.5	9	54.6	5
後通場	72.7	16	77.7	14
局幡の	70.0	25	93	19
湯弁山	68.1	19	68.5	8
入上野	56.6	14	42.9	11
山岩新	52.8	51	40	49
上野浄	58.4	7	97.8	10
野満久	98.4	1	100	0
新春迫	97.9	5	100	0
浄本宝	99.3	1	100	0
久三草	97.4	6	98.2	1
春草	100	0	100	0
迫	90.8	10	100	0
珠	96.6	6	98.1	1
松	100	0	100	0
場	92	4	97.8	2
本	100	0	100	0
草	100	0	100	0

帰米報告

畑芦馬虎雄

思えば既に一ケ年前の三月二十九日プレズゼント・ウイルソン号「二万トン」に乗って、夢に見ていたアメリカに渡る事が出来、男子の本懐是に過ぎるものわないと思っていた然し、是れに依って得たものは只単なる欣びだけでなく、その裏底に潜むものわ辛々と迫る焦慮と、吾々日本人の深刻に考えさせられる各種の物質的、精神的な要因是正とであった。今此処に私の経た体験を村の皆様に報告する事は、何等かの型でお役に立つ面があるのでわなからうか、各号に順を追って、延べる事と致しましょう。

国家としての派米目的

イ、アメリカ農法会得　ロ、日米親善　ハ、日本人口問題の解決ニ、海外進出気運の醸成　ホ、外貨獲得等の事が大体の目的であり、此の事業が、前カリフオルニヤ州のウオーレン州知事の呈称されたものと言われて居り、それ度け残念乍ら日本政府は、此の農民の海外発展等と言う事に無関心であったと思われる。

吾々が第一に考えなくてわならぬのわ、農村潜在失業者の問題と過剰人口の捌口こそ真剣に考慮を要する事であらう。僅か四、五反の田畑で一家の路命をつないでゆく哀れな農

民生活だ、そして私もその貧困農家の一子弟として、無学と自己軽蔑の感覚の中に育くまれて来た。レミゼラブルな農民の切なる希い、是が私の直接の渡来の動機となった。思うに過去の貧困生活の思出、それは恰も昭和五、六年頃の農村不況時代で六人の子供の悪戯盛りを育て小作農六反余、父母の老苦は一通りでわなかった事だらう。そして私も尋常六年生を卒業した。最后の修学旅行の博多行き、その旅費の五十銭がない為に、教室に只二、三人取り残されて過した、かの忘れようとしても忘れられない、悲しい思出、世の中には案外斯うした社会人が多く居る事を、為政者は真剣に考えているであらうか。亦昨年の冷水害、風水禍で東北では農家の娘が最低二千円から最高三万円で売られて行ったと聞く稗と麦を常食とする彼等には、売られても美味しい食事、美しい衣裳を着て、生活する方が余程良いと言う悲惨な事実、只貧困なるがゆえに、無学なるがゆえに、惨めな豚の食餌に劣る様な食事ゆえに「農は国の大本なり」とは果して誰が言っただらうか、猶百姓と言う語いんの中に潜むものわ、総べて斯うした生活が映し出されて、うら寂しい撫養された様な言葉として聞えるのわ、独り私のみであろうか、何是農民なる故に蔑視されるか、自己嫌悪に陥りたがるか、是も疑問の一つであった。猶農村婦女子の問題、具体的な農法実体把握、アメリカの総合的文化に対する憧憬、私の心中に去来するものわ、未知の世界の構図であった。

扨て人口問題と言えば、二十八年九月現在日本人口八千七百万で、昭和三十五年には九州全島の面積が必要だとの事、一年に五十余万の自然増加で、昭和四十五年には一億を超える事を考えると、只簡単に済まされそうにもない。

亦二十七年の国民総所得は、百二十億円だが、日本人口の過半数を占める農民の所得は、僅かにその二十%に過ぎない、事実土地は、八五%が山嶽、十五%が耕地で、而も天災地変が多く、人口密度はベルギー、オランダにつぐ日本で、耕地当りに対しても、将に世界一であり、封建的な徳川政策の流れが今だに頽勢で現在に至っている。みづほの国と言はれている我が国も、米、麦一辺倒に反省の時機が来ているのではなかろうか、それでは果して農民一人が他の人を何人養う事が出来るだらうか、ドイツ、フランスでは十六名、アメリカでは三十二名、カリフオルニヤでは四十二名、日本では四名、斯う考えて見ると日本の農民の道は非常に苦難に瀕はれたものであり、今こそ真剣に考え直さる可きでなからうか。では私の歩りましたアメリカ合衆国のカリフオルニヤとは何んな処か、世界の三大穀倉地と言はれアメリカ第一の農業生産高を示し、広さは日本より広い、人口は日本の約八分の一で千数百万人で、広大な沃野（例えばサンノーキンバレーサクラメントバレー）市八十余里、長さ二百里余もあり、北は亜寒帯から温帯、亜熱帯地方に至り、各種の産物は素晴しいものがある。

雨が非常に少くて、一年平均四五〇ミリ程度で、私の体験から四月から十月末迄に僅か二日半しか雨が降らなかった。その為夏は山も野も草が枯れて黄色になっている、そして冬に雨が降るので野山は青くなると言う。気候は七月の最高気温百五度最低二五度で雪は降るのは山（ロッキ山脈）だけで、大洋岸では年中六月頃の気候で、此の辺りでは、作物（野菜）は三回から八回位収穫出来る。南部メキシコ国境からロスアンゼルス市外には、今でも砂漠が広漠と拡がって、ハリウッドの西部劇の本場の景が有る。

斯うした雨の少い所では、是非共充分な灌漑施設が必要だが、加州には大小二十余りのダムが有り大きいのは囲りが十余里もあるのが有り、世界で二、三番のがある。そのダムの水は雪隔けの水禍を防ぎ、発電をし、農産物を潤す。その水路は延々八百里に及んでいる。その外、井戸水を利用しているものもあり、大体二百尺から五百尺位の深さからポンプで揚水して、三十町歩位を灌漑する事が出来て、その水量の大きいのに驚く、斯う言うのがカリフオルニヤ州の概略である。次号では旅行中の模様をお知らせ致しましょう。

方城村農民に告ぐ

方城村農協組合長　岩崎石三

商売人に比べて収入が少ないので、百姓ほどつまらないものはない。苦しくて損するものはないと皆の百姓は口癖の様に云いますが、やり方一つに依りますと、百姓ほど面白く儲かるものはないと、篤農家は申して居ります。

農家は苦しく金は無く、毎日麦飯を喰べて行くのが関の山と云うのわ、農業経営の方法が悪いからと云って居りますが、食べるばかりなら犬や猫でも毎日食べていって居るのです人間は人間らしく生活が出来なくてわ駄目です。

月に一回位は仕事を休み、家内揃って映画見に行ける様な経済的のゆとりを持ちたいのです。

私は農業協同組合長として方城村農民の経済を預かって居るのですが、農民が農協を理解し利用して行けば此の問題わ容易に解消されて行く事と思います。

御承知の通り農協の事業は三つより成り、指導事業、金融事業、販購買事業等ですが、吾が方城農協としてわ、指導部は役場に置き、食糧増産や改善発達の指導を画りて居り、金融事業は農民各位の御協力に拠り、郡下十七農協の内第三位になり、県下三百四拾農協の内にても成績の良い方です。二月末の貯金残も四千五百万円を越えました。これわ農民の皆さんが農協を理解と御認識の賜と厚く〳〵感謝する次第です。併し未だ〳〵目標額五千万円にわ達して居りません。

支部の調査によりますと郡下に於て方城農民ほど財源を持って居る農民は他に無いそうです。現に炭坑の鉱害、米、麦減収補償も約四千万円位を、私が一括して受取り分配して居り、販売代金（供出米、麦）も二千万円も支払って居ります。

「塵も積れば山と成り」一百万の富も壱銭から、と申しますが、この金の一割は是非貯金に天引で残して貰う様に御願い致したいのです。

農民全部の貯蓄心が集れば六千万の貯金も可能かと思っています。未だ金田の銀行や郵便局に貯金して居る農民が少くないと思います。御承知の如く銀行の貯金は商人が使い、郵便局の貯金は国家が使うのです。

農協の貯金こそ、農民が何時でも使えるのですから、農民の貯金は是非〳〵農協に一糸乱れずして貰いたいのです。

幸い方城村は村当局の非常なる理解と村民の御協力によりまして、各部落毎に三〇を数える立派なる公民館を持ち、昭和二十七年十一月に、全国優良公民館の表彰をされ、文化方城になって居るので、私はこの公民館事業の一部に貯蓄を織込み巡回講座の際に、奨励して貰いたいのです。勿論農協役職員も部落座談会にわ廻ります。

今の社会は金が無くてわ何の事業も出来得ません。子供の教育も農民の生活改善向上も、納税成績も皆金が無くては駄目です。

昨近の新聞の報ずる処によりますと戦後の農民の生活水準は（七）に対し、都会が（二〇）割合いに成っていたのが、現在でわ都会の生活水準が（六）に対し、農村が（四）の割に成って居るそうです。其の原因は昨年の水害や虫害により、米の減収が農家に致命的打撃を与えたのと、農産物の統制撤廃による農作物の下落によるものと思いますが、尚政府わ二ケ年後位にわ、米の統制撤廃実施を考えているそうです。

そうなれば吾々農民経済は増々不安が増大するばかりにて、生活が非常に苦しくなる事と思います。今其の対策を余程徹底的に施策しなければなりません。

今こそ農民経済は、農協に一糸乱れず団結せなければ、農家の生くる道は無いと云って過言でないと思います。

皆様方の農協です、農協が発展すれば農家の皆さんも色々の面から良くなります。

方城農協も昨年は、県下優良組合の表彰を受けました。方城農協は全面的に軌道に乗って居るのです。私達役職員一同は一体となり、農協推進のため努力致しますので、今後共皆々様方の御指導と御鞭撻、御協力の程を御願い申上げます。

農業振興は天地の法則

草場千手兼吉

天地の法則、日月の運行、四季春夏秋冬、実に広大無変の大宇宙であり我々は其の小宇宙なれば身心業務共に進歩、進展、向上、改善でなくてわならぬ。しかし我々は其の導い「おしくみ」に答えて居るでありましょうか。自分自身として向上無く、又家庭に於いて、村に於いて、改良

改善すべきでわあるまいか。又業務に於いて数十年来の苗や、稲作りでわあるまいか、其の自我習慣性に気付き、向上進歩を辿る心を作る事が法則に答える事でわあるまいか。

一、人を作り　二、土を作り　三、稲を作ると云う尊い言葉があります実に其の通りと思います。

幸にして左の通り昭和二十九年度は農業振興五ケ年計画と云う実に尊い計画が勧業係より出され、四月より実施する様農委で決りました。村民の皆様どうぞ全力を挙げて此の期を失せず、農業振興に精進され、大法に答えられん事をお祈り致します。

昭和二十九年度事業計画

経済課

方針　農業振興五ケ年計画推進対策として先ず農業綜合調査を実施し本村に適する諸施策を実行する。之がため調査は必要緊急事項に、仕め、少くも後期より対策の樹立並に実行に移行し、統計的科学的成果を期する。

一、重点項目

1 食糧増産
2 有畜農業酪農経営の推進
3 県行造林奨励
4 農業綜合調査

二、事業項目

1 農芸関係
- 食糧増産対策(農業経済安定)

2 畜産関係
- 飼育管理改善
- 有畜農家創設推進
- 家畜健康保護
- 酪農経営推進

3 林業関係
- 県行造林奨励
- 林業経営の推進

4 農地関係
- 小作料改訂事業
- 農業綜合調査

昨年の凶作を省みて

中原末松栄

独立三年を迎えての初春、気を新にして一歩前進しようと考えるのわ、私だけでわないと信じます。

蓮沼門三の「明魂」に「散る花を追うな、出る月を待て」とありますが思い出多い昨年を振り返って見るのも無駄でもあるまいと思い、筆をとり皆様の御批判を御願い致します。

昨二十八年は非常に天災地変の多い年でありました。水害に依る被害は不可抗力として、一応うなずけないでもありませんが、是とてもある程度人の力に依って防ぎ得る事もあったと思われます。昨年度の稲作についてわ、今一度反省の必要がありわしないかと考えられます。学問も素養もない私が、鬼や角論する筋合でわありませんが、私の体験した失敗や、見聞した事等から思い廻して見ますと、栽培技術の研究の必要を感ぜざるを得ないのであります。ある地方でわ投機的の稲作り、いわゆる地方の事等考えないで、多収穫を夢見て多量の窒素を施用した人が、ひどい螟虫や、うんかの被害を受けた事実が多い様であります。又薬剤散布についても散布の時期、其の都度の量等の知識が充分でなかった事も事実でありました。ホリドールの散布にしましても、初回でわ非常に効果を認めながら、二回目は時期や量等の知識が不足のため効力が上らなかったのが、何とも残念な事でありました。

こゝで私は、先決問題として我を捨てゝ出直す事が本当だと考えさせられます。「おれわ親の代からの百姓だ」この言葉こそ農村経営上凡ゆる部門に大きな障壁でわないでしょうか。今年こそわと計画も設計も充分にやっていましても、誰が昨年の様な悲惨な作柄の二の舞をやらないとの自信がありましょうか。断じて予測わ出来ません。幸い、村当局に技術員や改良普及員が居られる事ですから、是等の方の御指導に依って、今こそ古い殻から脱出して、新しい技術を取入れる時でわないでしょうか。過去った事を云う者わ愚の骨頂だと笑われ「来年の事を云えば鬼が笑う」と申しますが、笑われながらも過去を思い、未来の事を考えつゝしっかりと大地に足を着け、やがて自分もほゝ笑む明るい農村建設に努力する所以であります。何卒皆様の絶大の御指導と御引廻しを御願い致します。

先進地視察

方城村園芸組合員

去る三月一日から三泊四日組合役員で先進産地たる岡山県の農芸実態をつぶさに視察したので其の結果を報告しましょう。

三月一日朝六時十分岡山駅着直ちに池田産業動物園え行く、場長池田隆政氏に面接此処では動物園としての形態を備え、外に鶏二百羽と孵卵場の設備があり、大体三日間に二万羽を孵卵する相である。池田氏の言によれば、養鶏は将来は一代雑種により正交配が良いとの事である。

乳牛は二十九年度より、ジャージー種を米国より導入する様に決定したが、従来のホルスタイン種と比較して何れが得かは疑問である由。役牛については岡山牛の産地としての名声を持続する為、県に於て優良牛確保のため県外移出を禁じている相である。

此れは方城村に於ても所謂方城牛の産地としての名声を拍するためにはどうしても優良牛の村外移出を禁じ村に於て確保する様な措置が必要ではないかと思う。之が為先づ村に於ても村自体優良な種牛の導入が真剣に検討される事が最も望ましい。

午前九時池田動物園を辞し岡山県立農事試験場訪問、此処には元福岡の試験場に居られた豊岡治平先生に案内を請い場内見学をしたが、特に参考になった事は

1 麦、中国裸五号（早生）を奨励している、早生であるので防寒用壁に使用する便がある。
小麦五二号は六一号より優良であるとの事である。
2 そ菜、蔬のビニール利用による促成栽培と、ニラの軟化栽培が県下でも実際にやっている由で相当な収穫を上げている相である。

尚当試験場より水稲、旭、備前にしき、美代にしき、麦、中国裸五号等の導入斡旋方をお願いし十一時辞去先生の紹介により同市西河原の篤農家永江直太郎氏訪問茲に於ては特に水田を有効に利用し、水稲の連作を排し、水稲二年、そ菜三年作付し、温床用床土も温床予定地に対し堆肥等を重点的に施し、そのまゝ床土として利用するので特別に床土の消毒はしない相である。

午后六時、汽車にて津山市え到着一泊す。

三日朝久米郡大井町立体農業研究所訪問、所長久宗壮先生の案内により見学をなす。

先生自ら地下足袋にて練習生二名と共に農業に従事している実態を見て我々としては大半視察目的を果した感がした。

殊に研究所の名が示す様に、立体的合理的経営を現実に見て、先生が理想とする循環式経営が合理性を帯びているのは大いに学ぶべき点であらう。経営状況は次の通りである。

1 麦、万共一号、新一号を移植し、実取十三俵は毎年収穫している由
2 水田
3 家畜、乳牛二頭、豚二頭、めん羊四頭（自家用）
鶏二百羽、幼鶏六百羽
4 林業栗一町歩、しいたけ
5 養魚、うなぎ、こい

以上の経営実態であるが、殊に考へさせられるのは一部の篤農家のみが此の様な経営をしているのではなく附近の農家が之を見習って実行しているのが特長であらう。又県全体が農芸に極めて熱心である事がうかがえる。一般に勤労意慾が極めて盛んにして畑、山林等の手入れ、管理が充分行き届き、自給肥料に窮んと依っている様である。

四月の農事メモ

麦、肥料＝彼岸過ぎてから麦に追肥するとよくないと考えられにいるが、麦が最も多く肥料を必要とするのは幼穂形成から出穂までであるので、出穂頃までに肥料不足のため葉色が悪くなったら、少量の肥料（反当硫安五〇〇匁一貫）を追肥する。

管理＝出穂頃から成熟期にかけて降雨が少いと麦が枯れ熟れになるから、乾燥を防ぐため畦間に敷ワラを行ったり、潅水の便のある所では畦溝に夜間通水する。

水稲、種子消毒＝田川地区には近年、馬鹿苗病の発生が多くなりつつあるが、これを防除するためには種子消毒以外にないので、イモチ病、胡麻葉枯病等の予防を兼ねて水銀製剤による共同消毒を励行する。

苗代＝焼籾殻撒布の改良苗代を励行する。坪当り施肥量は健苗育成の基礎であるから窒素過多にならないよう次を標準とし、前作の施肥量を考慮して窒素を加減する。

坪当り、山間部堆肥一貫、硫安三〇匁（又は尿素一四匁）、過石（又はトーマス燐肥、溶成燐肥）三〇匁塩化加里一五匁、
中間、平坦部堆肥一貫、硫安二五匁（尿素一二匁）過石三〇匁、塩化加里一五匁

蔬菜、果菜類の定植＝本村に於ける果菜の定植時期は四月下旬にトマト、四月末にナス、五月上旬に胡瓜を標準とする。

肥料＝反当元肥は次を標準とするトマト、硫安四一七貫（又は尿素一一三貫）過石（又はトーマス燐肥、熔成燐肥）一五一二〇貫、塩化加里一〇貫。

胡瓜、硫安七一一〇貫（尿素三一四貫）過石一〇一一五貫、塩化加里一〇貫。

ナス、硫安七一一〇貫（尿素三一四貫）過石一五一二〇貫、塩化加里一〇貫。

馬鈴薯の管理＝追肥は早目に発芽一寸の頃第一回、五一六寸の頃第二回、最後の追肥は花蕾の見え始めた頃。土寄は五一六寸の頃と花蕾の見え始めた頃、遅くなってから馬鈴薯の根を切らないがよい。芽掻きは早目に種イモを片手でおさえ乍ら二一三本とする。

（長尾普及員）